

一般社団法人 千葉県社会福祉士会  
第9回定時総会議事録

1、開催日時 令和3年6月20日（日）13時30分～14時55分

2、場 所 千葉県教育会館 本館6階604会議室及びWeb会議

3、出席者 会長 洪沢 茂  
副会長 山口 利史  
副会長 古澤 肇  
副会長 宮本 哲男  
事務局長 樽林 元樹  
会員理事 堀江 亜希子  
及川 哲  
四ノ宮 章  
宮下 朱実  
服部 明 (Zoom)  
長嶋 祐一  
谷口 さなえ  
秦野 隆治  
前田 久美子  
安藤 宏之  
監事 山口 定之  
市原 久夫  
出席代議員 35名  
(内訳：出席者 6名、書面表決者 29名)

4、次第

(1) 開会

(2) 会長挨拶

(3) 議長選出

(4) 議事

第1号議案 2020年度事業報告および決算報告について  
(2020年度監事監査報告書)

第2号議案 規則第2号会費等に関する規則の変更について

第3号議案 規則第6号正会員に対する苦情に関する手続き規則の変更について

(報告事項)

2021年度事業計画および予算について

## 【議事録】

### ●開会発声

(司会 前田理事) 定刻となりましたので、ご着席ください 理事席、代議員席、監事席は分かれています

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Web 会議併用により、原則、理事、代議員のみの出席として少人数での開催とさせていただきます

Web 会議システム (Zoom) により、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認されています

これより一般社団法人千葉県社会福祉士会第9回定時総会を開催致します

### ●会長挨拶

(渋沢会長)

理事に就任し8年目、会長に就任し6年目であり、本年度が会長として最後の総会になる  
1,500名以上の会員の考えが全員一致することは難しいが、自由な意見交換ができる風通しのよい会でありたい 本日は、議事後にも意見交換の機会を設けている ぜひ忌憚のないご意見を願います

### ●議長選出

(司会) 係の方は、議場閉鎖を願います 議事に移るに当たり、議長の選出を行う 定款24条に基づき、渋沢会長に議長の選任をお願いする

(渋沢会長) 及川事務局次長に議長をお願いしたい

### ●議長就任

(及川事務局次長) 只今、議長に選任されました 円滑な議事進行にご協力のほど

### ●定足数の確認

(議長) この総会の定足数と出席者数の確認を行います Zoomでご参加の方には、事前に書面による表決をいただいている

代議員の定数は52名 定足数は、「一般社団法人千葉県社会福祉士会定款第25条」の規定により、代議員総数の2分の1以上 従って、定足数は26人以上となる

次に、出席者数の報告 本日会場にご出席いただいている代議員は、6名 書面による表決者数は、29名で総数は35名 出席者数が定足数を満たしているため、この総会は有効に成立することを報告する

### ●開会

(議長) 定足数を満たしており、この総会は成立する 総会の開会を宣言する

議事録は、事務局が記録作成する

それでは、議事に入る

具体的な議事については「総会資料」をご覧ください 説明者は、ポイントとなる点について、説明をしてください 目次の順番に従って議事を進行します 第1号議案から、事務局

より説明をお願いする

●審議事項

**議案第1号 2020年度事業報告および決算報告について（総会資料P1～34）**

（事務局長）2020年度事業報告および決算報告について、総会の承認を求める

- ・ 2020年度事業報告について、総会資料の通りである
- ・ 各委員会事業報告について、各委員会委員長より説明をお願いする

（総務委員会 - 委員長）

（総合相談委員会 - 委員長）

（研修委員会 - 委員長）

（権利擁護センターぱあとなあ - 運営委員長）

（司法福祉委員会 - 委員長）

（災害対策委員会 - 委員長）

- ・ 10月25日に研修開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止したことを追加報告する

（倫理委員会 - 事務局長）

（社会福祉士ささえあい制度配分委員会 - 担当理事）

（松戸市居住の安定確保支援事業 - 担当理事）

（事務局長）

- ・ 2020年度決算報告について説明、総会資料の通りである

（議長）決算報告について、監事より監査報告をお願いする

（山口監事）

- ・ 令和3年5月9日、監事2名により、会長、事務局長、事務局会計担当者立会いの下、監査を行った 35ページの文書の通りである。その際、口頭で述べた提案意見2点について口頭で報告する

1点目-固定資産約25万円が予備費で支出されているが、会計顧問に相談のうえ固定資産の科目を設けることを検討してはどうか

2点目-予算額と決算額の差額が400万円台と説明があったが、差額は可能な限り少額が望ましい。予算執行額の適切な把握に努めていただきたい

**質疑：なし**

（議長）では、第1号議案について、採決に移る。定款第26条の規定により、2020年度事業報告および決算報告に関する事項の採決は総会出席者の過半数の賛成が必要となる。第1号議案に賛成の方は、挙手をお願いする

**質疑応答後、採決 賛成6名、書面表決賛成29名、合計35名で承認された**

## 議案第2号 規則第2号会費等に関する規則の変更について（総会資料P36, 37）

（議長）会費等に関する規則の変更についての説明を事務局長にお願いする

（榎林事務局長）

- ・日本会も若年層の入会率が低い点を課題と捉えており、先日の総会で、2022年度から若年層の入会促進キャンペーンを全国県士会で一斉に行うことが提案された
- ・当会としても、30歳未満の新規入会者の入会金と1年間の会費を減免する制度を導入したい
- ・理事会では、初年度だけ安くしても、会の活動に魅力がなければ退会していくという意見が出た。同時に魅力的な会づくりに取り組みたい。総会後の意見交換会に参加をお願いする
- ・規則の改正日は令和4年4月1日とし、附則を追記する

### 質疑

- ・30歳未満の入会者がどの程度で、規則改正により、どの程度の減収が見込まれるのか

### 回答

- ・本年4月5月の入会者58名のうち、該当年齢は3名であった。3名の場合、6万円の減収となる

### 質疑

- ・その程度なら今年度から実施してもよいのではないか

### 回答

- ・理事会でも同様の検討をしたが、総会で規則を改正し、会の魅力と合わせて広報したうえで実施したいとの結論になった

（議長）では、第2号議案について採決に移る。本議案についても、採決は総会出席者の過半数賛成が必要となる。第2号議案に賛成の方は、挙手をお願いする

質疑応答後、採決 賛成6名、書面表決賛成29名、合計35名で承認された

## 議案第3号 正会員に対する苦情に関する手続き規則の変更について

（総会資料P38, 39）

（議長）正会員に対する苦情に関する手続き規則の変更についての説明を、事務局長にお願いする

（榎林事務局長）

- ・従来の規則では再審査請求と不服申し立てを複数回行えると読み取れるため、1回に限ることを明記した
- ・「調査委員」と「調査員」と2つの名称が記載されていたものを「調査員」に統一した。資料P39新（改正案）第14条に下線が引かれていないが、1行目に変更箇所あり
- ・また、資料には記載ないが、規則の改正日は令和3年6月20日とし、附則を追記する

質疑：なし

(議長) では、第3号議案について採決に移る。本議案についても、採決は総会出席者の過半数賛成が必要となる。第3号議案に賛成の方は、挙手をお願いします。

**採決 賛成6名、書面表決賛成29名、合計35名で承認された**

**報告事項 2021年度事業計画及び予算について (P40～53)**

(議長) 2021年度事業計画及び予算についての説明を事務局長にお願いする。

(榎林事務局長) 事業計画及び予算については、理事会承認事項となっている。

- ・ 2020年度第8回理事会で承認された「2021年度事業計画及び予算」について、資料のとおり報告する。

- ・ 各委員会事業計画について、各委員会委員長より説明をお願いする。

(総務委員会 - 委員長)

- ・ 2020年度から取り組み始めたスクールソーシャルワーク関連事業を、重点的に取り組む「職能団体と連携できる人材の育成、協働の研究」に位置付けて実施していく。

(総合相談委員会 - 委員長)

(研修委員会 - 委員長)

(権利擁護センターぱあとなあ運営委員長)

(司法福祉委員会 - 委員長)

(災害対策委員会 - 委員長)

(倫理委員会 - 事務局長)

(松戸市居住不安定者等居宅生活移行支援事業業務受託 - 担当理事)

- ・ 生活保護法の改正に伴い、事業名称が変更になった。

(榎林事務局長)

- ・ 2021年度収支予算について説明、総会資料の通りである。

- ・ 6,672,700円の赤字予算であるが、併せて当会事業や体制の見直しを併せて進めることとしている。古澤副会長から説明をお願いする。

(古澤副会長)

- ・ 「事業・予算のあり方検討委員会」を組織し、会の体制やICTの活用、事業のあり方などについて、既に検討を進めている。

- ・ 合計7回の会議を開催し、次年度予算編成を開始する9月の理事会に向けて、具体的な方向性を提案する予定である。

- ・ 委員は、榎林事務局長、山口総務委員長、四ノ宮ぱあとなあ運営委員長、長嶋研修委員会担当理事、市原監事、古澤の6名である。

(議長) 報告事項のため採決は行わないが、ご質問、ご意見等あれば発言をお願いする。

質疑

(宮間代議員)

- ・ 昨年度予算に対して今年度予算の支出額が500万円(予算額の約10%)増加している。収入がほぼ変わらないのに、支出が増加している要因は何か

回答

(事務局長)

- ・ 昨年度、コロナ禍で中止した事業予算を補正予算で減額した。今年度はコロナ禍でもオンライン等を活用して事業を実施していくため、事業費支出が増加している

質疑

(宮間代議員)

- ・ 当初予算ベースでは、ほぼ支出額が変わらないと理解してよいか

回答

(事務局長)

- ・ 実際には、昨年度の当初予算より、今年度の当初予算支出額は増加している。総会資料のみでは、詳細な当初予算との比較はご提示できない

(山口副会長)

- ・ 補正反映後の予算との比較では、昨年度の基礎研修の中止に伴う差額、ばあとなあ運営委員会の報酬助成事業の新設による支出増加が大きな要因である

質疑

(宮間代議員)

- ・ 決して支出増加を問題視しているものではない
- ・ 報酬助成事業は収入と支出が同額であり、赤字の要因にはなりえない

質疑

(宮間代議員)

- ・ 報酬助成事業の対象となる条件について説明して欲しい

回答

(ばあとなあ運営委員会)

- ・ 後見受任報酬が年間15万円以下の場合に、15万円を上限に差額を助成する。市町村助成制度の対象外の案件が対象となる
- ・ 従来はささえあい制度の枠内で助成してきたが、今年度、受任者から受任事案1件につき2000円を徴収し原資とする報酬助成制度を導入する

(宮間代議員)

- ・ 昨年度まではささえあい配分委員会で助成対象を決定していたが、今後はどこで意思決定がなされるのか

(ばあとなあ運営委員長)

- ・ ばあとなあ千葉運営委員会内の報酬助成審査会で審査し、運営委員会で承認、理事会に報告する

(宮間代議員)

- ・ あくまでも意見だが、運営委員会内で決定できる体制は、客観性の確保が課題と感じる

(渋沢会長)

- ・ 報酬助成制度新設の経緯を説明させていただくと、ささえあい制度は会の財政状況が厳しい時代に、会員の自発的な社会貢献活動を建設的に支える趣旨で発足したが、年月を経て、資金の管理が杜撰になっていた面があり、改善を求める声が多々寄せられていた
- ・ 私の会長就任後、当該制度の執行状況を調査して公開し、年度途中でも必要な事業は会として予算化していく方針に決めた
- ・ 従来、予算は総会承認事項であったが、補正予算のたびに総会開催が必要となり、柔軟な活動ができない状況であったため、事業計画と予算を理事会承認事項に変更した
- ・ こういった経緯の中で、後見受任者への報酬助成に限定した仕組みを作ることを意思決定し、その他の活動については従来通りささえあい制度の中で本会事業として取り扱っていくものである

## 質疑

(川名代議員)

- ・ コロナ禍の影響はまだまだ続くと思われる 財政状況が厳しい中でも、オンライン研修・会議に必要な IT 機器は、積極的に導入して行って欲しい
- ・ 地域集会の連絡に使用していた無料のメーリングリストが、サービス終了で使えなくなり困っている 会員名簿に参加を希望する地域集会地区が掲載されている 会の方で、地区ごとに地域集会の案内メールを配信することはできないか

## 回答

(総務委員長)

- ・ 地域集会の周知用として、各地区の参加希望会員の住所を記載したラベルと切手を、世話人に提供している
- ・ 現状、会からのメールを地区ごとに配信する仕組みはない 県全域を対象にした Zoom 開催の地域集会等イベントについて、メール配信や HP への掲載、広報誌への同封も可能である
- ・ もし Zoom での地域集会開催にあたりサポートが必要であれば、連絡いただきたい

(議長) この他、会場及び Zoom 参加の方からご意見、ご質問はないか

なければ、事前に会員から寄せられた意見について、会長より報告と回答をお願いする

(渋沢会長)

## 意見 (事前募集)

- ・ 会員名簿が毎年度同封されているが、ほとんど見ないし、使用しない 希望者のみに配布すれば十分ではないか

## 回答

- ・ 私が理事に就任した 7 年前、会の活動活性化に向けて話し合いが進められる中で、会員同士が理解し合うための端緒になると考え名簿を作成することにした
- ・ 個人情報保護の観点から公開希望者のみを掲載する案もあったが、レスポンスが少ないことが懸念されたため、原則として全ての会員を掲載し、掲載を希望しない項目があれば申し出ていただく方式にした

- ・ 発行後、全情報の掲載を希望しないと申し出があったのは、約 1,500 名の会員中 2 名である
- ・ 公開したくない情報を掲載したり、不要な方に送り付けたりするつもりはないが、当会会員がどこに住んでいて、どこで働いているのかという情報は、広く会員に共有したいと考える

●議事終了

(議長) 以上で、総会の議案及び報告事項は終了しました 円滑な議事進行にご協力頂き有難うございました

●閉会

(司会)

皆様、議長お疲れ様でした 以上で、一般社団法人千葉県社会福祉士会第 9 回定時総会を閉会とします

議事録記名押印

会長	渋沢 茂
副会長	山口 利史
副会長	古澤 肇
副会長	宮本 哲男
事務局長	樽林 元樹
会員理事	堀江 亜希子
	及川 哲
	四ノ宮 章
	宮下 朱実
	服部 明
	長嶋 祐一
	谷口 さなえ
	秦野 隆治
	前田 久美子
	安藤 宏之
監事	山口 定之
	市原 久夫

●事務連絡

(事務局長)

15:20 より、楽しい会にするための意見交換を行いたいので、お時間の許す方は参加いただきたい

以上をもって議事全部を終了し、15時13分閉会した